

第5学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 美しい声で楽しく歌う姿勢があり、アーティキュレーションや強弱表現の技能がある。
 - 正しい指使いで楽器の演奏ができる。
- 課題**
- ▼ 声量や響きを強くして歌う技能。
 - ▼ 正確な拍感とリズム感で、伴奏や全体の音を聴いて音を合わせる技能。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 歌唱の声量と響きを強くする。
- ◇ 正確な拍感とリズム感で、伴奏や全体の音を聴いて音を合わせる技能。
- ◇ 二部合唱のハーモニー感覚を養う。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 目標をもって取り組めるように、手本や見本を示して目標を明確にする。
- グループ活動や児童同士の教え合いが効果的に機能するようにする。

言語活動の工夫

- 表現活動では、どのように歌い、演奏したいのか等、自分なりの思いをもてるようにする。
- 鑑賞活動では、【共通事項】を基に感想を書いたり、友達と意見の交流をしたりする。

ICT活用の工夫

- 鑑賞では、映像を見せて楽器の種類や演奏の様子がわかるようにする。
- パソコンを使って友達の考えを見たり意見交換をしたりする。

課題解決力育成の工夫

- 音楽の要素やその特徴を捉え、歌い方や演奏の仕方を工夫する。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるようにする。

達成目標

- 音楽のよさや楽しさを感じ、自分の思いや意図をもって音楽表現できるようにする。特に「はずむ」と「なめらか」の違いを表現できる技能を身に付けるようにする。
- ハーモニー感覚を養い、二部合唱ができるようにする。